

## 第4部

# 私たちの望むまちと取り組み

第4部では、前章の新市における4つの共有価値「新市地域らしさ価値」を高めていったときに実現することのできる各地域の将来像（夢）とそれを実現するための各地域の取り組み内容（活動展開）、さらに新市全体で取り組んでいくべき活動展開の項目について取りまとめています。各地域の将来像（夢）と取り組み内容（活動展開）については、これまでに合併協議を行った10市町村分それぞれについてまとめてあり、併せて各地域の概況や特性も紹介しています。



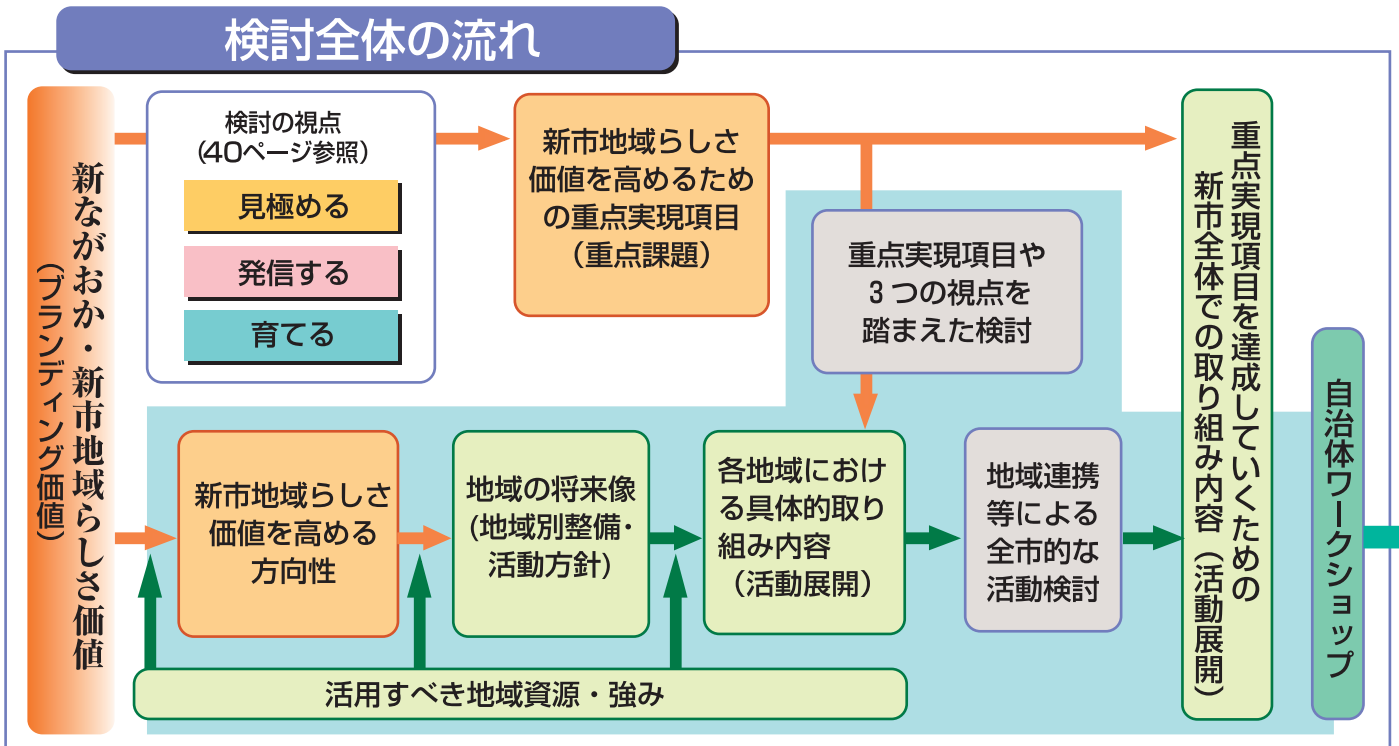
実りの風景（三島町）



# 地域の夢の検討手法と経過

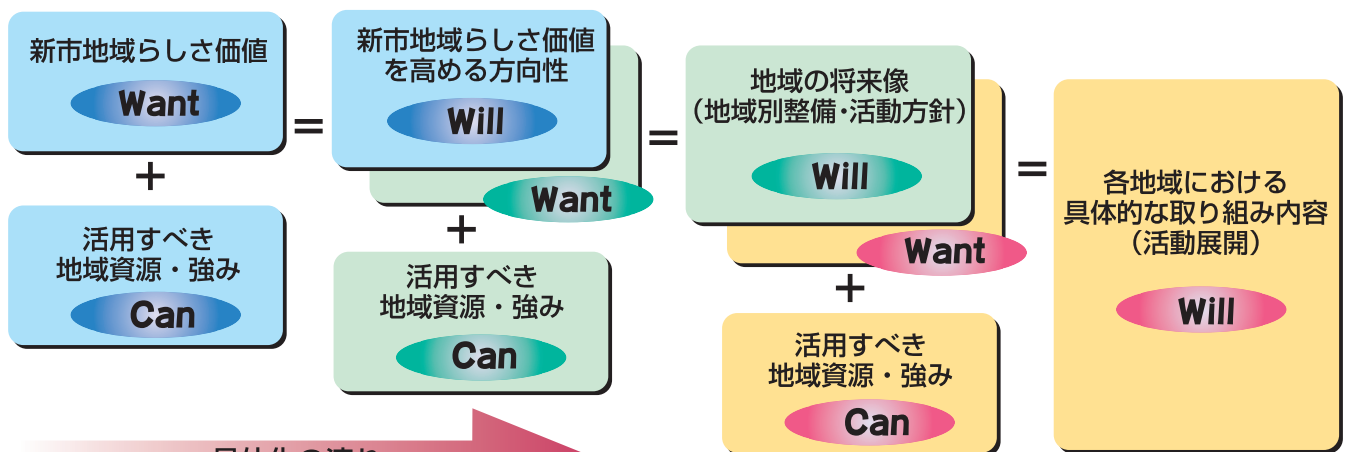
各地域の自治体職員が参加し、専門分野を活かしながら市民の思いを具体化しました。

第4部では、市民の思いを材料とした「新市地域らしさ価値」を高めるために、各地域での将来像（整備・活動方針）と取り組み内容（活動展開）を各地域の自治体職員が参加し、専門性を活かした具体化を行いました。



## 基本となる検討手順・仕組み

- 第1部の策定の基本方針のように **なりたい姿WANT** + **できる姿CAN** = **あるべき姿WILL** を基本の仕組みとした検討を行いました。
- 答えとして出したWILL項目を、WANT項目と読みかえて繰り返すことで、具体性を高める検討を行いました。
- この検討方法は、より深い活用資源の価値の理解や将来的な可能性の検討が必要となります。



具体化の流れ

長岡市、中之島町、越路町、三島町、山古志村、小国町、栃尾市の“地域の夢”については、長岡地域任意合併協議会で策定した「長岡地域新市将来構想」での“地域の夢”に基づきました。

## 任意合併協議会での検討における自治体職員ワークショップ実施プログラム

一連の検討の流れは、自治体職員参加のワークショップで行いました。

- 自治体職員のワークショップは、各市町村からまちづくりを担当する3人の参加を基本とし、以下に示すテーマと内容で、平成15年の6月から8月の間に8回開催されました。
- 検討にあたっては、各種調査で集めた多くの住民の声・思い<地域の資源・強み>を前提にするとともに、任意協議会参加市町村のワークショップ参加職員全員が、各市町村の検討内容を共有していくことを基本として進めました。

### テーマ

- ①各地域の資源・素材などを残らずあげる
- ②他の地域の資源・素材などを知る
- ③地域らしさ価値実現に向けた地域の役割を考える
- ④地域の役割を果たすための地域別整備・活動方針を考える
- ⑤新市の重点実現項目と、地域別整備・活動方針から各地域の活動展開のあり方を検討する
- ⑥各地域の連携、新市全体で取り組むべき活動を考える

### 開催経過



※ その他の合併協議会参加市町村である和島村、寺泊町、与板町については、任意協議会策定の「新市将来構想」に準拠して、自治体ワークショップを実施し、“地域の夢”を検討しました。